

# 第3回 理事研修会

## 文教施策懇談会 全体会について

文教施策懇談会全大会について、ご報告いたします。

この懇談会は、道教委と本会、道中学校長会、及び、道公立学校教頭会が共通理解を図りながら、相互の連携と信頼を深め、道の教育の目指す方向や施策等について意見交換する大事な機会として開催しています。

今年度は8月8日、道庁別館にて、次の3つのテーマについて協議を行いました。

協議1では、「学力・体力向上と教育環境の条件整備」をテーマとし、学力・体力向上のための具体的な取組の実状を、本会、東 副会長が報告し、教員の定数改善に関する今後の取組について質問しました。

また、学校と家庭・地域との連携促進に係る道教委の認識や体制整備について、さらに、臨時的任用教員等の安定的な人材確保の計画について追加質問しました。

協議2では「生徒指導上の問題と解決のための方策」をテーマとし、人間関係トラブルの未然防止の取組の実状を報告し、スクールカウンセラー等の充実と人材確保についての質問、及び、教育支援センターの整備拡充についての質問をしました。

また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの今後の拡充について、及び、不登校に十分対応できうる、教員配置の見通しについて、追加質問を行っています。

協議3では「教頭を取り巻く現状と課題解決のための方策」をテーマとし、小規模校における人員配置の基準の緩和や、副校長・教頭の複数配置、教頭職の負担軽減の見通しについて質問いたしました。

また、管理職を目指す人材確保の今後の見通しについて追加質問をしています。

道教委からは、学力・体力向上や生徒指導上の対応のため、指導方法工夫改善や、専科加配の拡充、コミュニティ・スクールの一層の充実など。また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー取組の拡充・拡大について、今後の見通しを含めて丁寧に回答いただきました。

ただ、本事業は国の実施事業であり、この件に関しては、国に対して引き続き要望を上げていくほか、関係先に適宜情報提供を行うとの説明でした。

教頭を取り巻く勤務の問題については、北海道アクションプランにあるように、調査の廃止・縮小等により業務の負担軽減を行うほか、民間コンサルタントの提言も受ける試みも進めていくとのことでした。

道教委としては、今後も主幹教諭の配置拡充について、国への定数改善を求め、管理職を含めた人材確保の条件整備に取り組むという回答でした。